



## 一般財団法人 竹田健康財団 竹田総合病院

〒965-8585  
会津若松市山鹿町3-27

TEL : 0242-27-5511

「キビタン健康ネット 利用施設の声」の第12回目は、一般財団法人竹田健康財団 竹田総合病院 副院長 輿石直樹先生にお話を伺いました。竹田総合病院では、「あたたかい心とたしかな医療」をスローガンとしてかかげており、会津地区の中核病院として地域の皆様に愛されるような医療を目指し取り組んでいます。

地域の皆様に信頼して任せてもらえるために、誠心誠意おこたえできるような医療を目指していらっしゃいます。

輿石副院長は外科科長も担当されており、進行する大腸がんなどの大腸疾患を中心に診療されています。

### ◇会津地域と「キビタン健康ネット」の経緯

「キビタン健康ネット」が整備される前、県中地域など一部の地域では独自の医療連携ネットワークが構築されていました。会津地域でも同様に医療連携ネットワークを構築する動きが始まり、「福島県地域医療再生臨時特例基金事業補助金」を利用して「会津さすけねット」が整備されました。東日本大震災以降、医療提供体制の確保や効率的な整備が強く求められるようになり、県全体で地域医療連携ネットワークを構築する体制が進められていました。そこで平成26年9月に「キビタン健康ネット」が整備され、平成28年6月に「会津さすけねット」と「キビタン健康ネット」は相互接続し運用されることとなりました。

### ◇竹田総合病院で「キビタン健康ネット」はどのような役割を担っていますか。

連携するクリニックなどから当院へ紹介された患者さんの情報を「キビタン健康ネット」で紹介元の施設に閲覧してもらっています。今までは患者情報を紹介元へ報告するのは手術のタイミングや退院などの節目で報告をし

## キビタン健康ネット 利用施設の声

## 第12回



ていました。「キビタン健康ネット」で連携をとることで、紹介元の先生が都合のいい時間に患者さんの最新の情報を確認してもらうことが可能です。情報参照施設である紹介元の先生から、「患者さんの調子がよさそうですね」などの声をいただくこともあり、患者さんの情報を確認してもらうことで互いに安心できます。

抗がん剤治療をしている患者さんは血糖や血圧が上がる場合があります。そのような患者さんが他の医療機関で血圧の薬を貰う場合は、「キビタン健康ネット」で当院のデータを見てもらい、調剤の調整を依頼することが可能です。検査結果や調剤情報を「キビタン健康ネット」で確認し、薬の量や治療内容、ステロイドの使用の有無などの詳細を確認してもらうことにより医療の公平性を保つ役割もあると思います。

#### ◇「キビタン健康ネット」を始めて良かったこと、変わったことはありますか。

「会津さすけネット」では、薬局が参加していなかったため、以前より薬局薬剤師との連携が強くなったように思います。処方箋だけだと薬局薬剤師は、なぜこの薬が出されているのかという点までは分からない事が多いです。患者さんも、ご自身の治療内容についてよく理解していない場合が多く、例えば、一つの薬でも服用するだけの治療もあれば、点滴と併用する治療もあります。「キビタン健康ネット」で情報を見てもらい、より患者さんに役立つ服薬指導をしてもらっているので、担当医としても安心できます。また、当院薬剤師と薬局薬剤師が「キビタン健康ネット」を通じて薬薬連携しており、患者さんにも安心いただけると感じています。

#### ◇今後、どのようなことを期待していますか。

救急時の同意書の取り扱いが今より簡略化されるといいですね。特に会津地区は医療圏

が広いので、当院に搬送されるまで時間がかかる場合があります。

搬送されてからCT等の画像を取り込む場合、再度撮影する時間よりも取り込みにかかるためCTを撮り直していますが、「キビタン健康ネット」でサービス提供が開始された画像共有システムで、搬送中に画像を送信してもらえると、事前に確認が出来るため非常に助かります。

今後、協議会には夜間や休日においても救急患者の情報が共有出来るよう対応を検討してもらいたいです。夜間や休日に同意を取得した場合でもすぐに情報が閲覧できるようになるといいです。

「キビタン健康ネット」で、もっと様々な情報を共有し、病病間の連携がさらに活性化すると良いと思います。それぞれの病院の特性を生かし、患者さんを紹介し合うような関係になると、より医療の充実に繋がると思います。情報公開病院同士の情報交換のツールになればいいですね。



竹田総合病院 副院長 興石 直樹 先生  
興石先生ありがとうございました。

(レポート 後藤)

